

講演会
里山の動物たち
～生きものとの共生～



【日 時】

平成30年9月9日(日)午後2時～午後4時(午後1時30分受付開始)

【講 師】

古谷益朗氏(埼玉県農業技術研究センター担当部長)

岡登伸一氏(NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会)

【会 場】

博物館学習研修室

【参加費】

無料

【参加者数】

46名

【内 容】



NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会の岡登伸一様から、天覧山・多峯主山周辺の中大型哺乳類について、お話しいただきました。

同会のモニタリングサイト1000里地里山調査の概要や調査結果をはじめ、動物たちの定点カメラの映像など、身近な自然の様子をわかりやすく教えていた

できました。また、現場の第一線でご活躍されるからこそ撮れた映像を見せていただき、動物の行動時間帯の推測を教えてくださいました。

埼玉県農業技術研究センター生産環境・安全管理研究担当部長の古谷益朗様からは、「人里に依存させないために～野生動物被害と共生～」と題しまして、飯能市また埼玉県の野生動物の生息状況と被害、そしてその対策について、お話しくださいました。

イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、アライグマ、ハクビシンなど哺乳類の生態や被害の特徴があるのか他県の状況も交えつつ詳しくお話しくださいました。古谷様のユーモアのあるご説明に参加者の皆さんは興味津々。最後に、民間企業と共同開発された、特定外来生物であるアライグマのみを対象とする捕獲器の説明がありました。



講演会に際しまして、記念写真展を開催しました。写真は、講師である古谷様からご提供いただいたもので、飯能市内に生息する動物たちでした。講演会、また写真展をきっかけに、身近な自然と共生していくことを考える、一つのきっかけになれば幸いです。